

本年度の努力事項

1 外国語・外国語活動・国際理解教育の推進

- ・「聞くこと」「話すこと」を中心とした外国語・外国語活動を推進することを通して、英語に親しみをもつとともに、意欲的に英語を話そうとする姿勢をもたせる。また他国の文化や習慣に慣れ、他国を理解しようとする意欲を育てる。
- ・英語に親しむ生活環境づくりを推進する。
- ・私たちが住む土地、徳島市・県、日本の地理、歴史、文化、風習等への理解を深める。

2 情報〔プログラミングを含む〕教育の推進

- ・一人一台タブレット端末を活用し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく育成する「個別最適な学び」と子どもたちの多様な個性を最大限に生かす「協働的な学び」の一体的充実を図り、主体的・対話的で深い学びの授業改善につなげる。
- ・受信・発信の基本的ルールやマナーを身に付けさせる。

3 教育活動全体を通して人権尊重の精神の寛容を図る人権教育の推進

- ・人権問題と関わって人間としてどう生きるか、すばらしい生き方とは何かと、子どもとともに問い続ける教職員でありたい。
- ・暮らしの隅々にまで、人権尊重の精神が根づいた生き方ができる子どもを育てる。
- ・「徳島県人権教育推進方針」に基づき、発達段階に即した人権教育を推進する。

4 全教職員の創意を結集し、「チーム新町」による教育活動の推進

- ・全ての教育活動は、全教職員の創意を結集して推進する。
- ・教育活動の中に、地域の特性や個性を十分に生かし、特色ある学校づくりをする。
- ・家庭・地域・関係諸機関との相互理解を深め、信頼関係を密にし、地域に開かれた学校づくりをする。

5 基礎的・基本的な資質・能力の習得を徹底し、体験して学ぶ学習活動の推進

- ・全ての教育活動に人権教育・道徳教育等を位置づけ、総合的に学習する。
- ・基礎的・基本的な資質や能力を確実に身に付けさせる。
- ・問題解決学習や自然体験・社会体験・生活体験等、豊富な体験を取り入れた学習活動を推進する。
- ・できるかぎり本物に接して学習する場を設ける。
- ・読書意欲を喚起し、語彙力や文章表現力及び創造力や思考力を高める。

6 共生社会に向けての特別支援教育の充実

- ・誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合う共生社会に向けての学習を深める。
- ・特別支援教育コーディネーターを核として、全校的な支援体制の確立を図る。
- ・関係諸機関との連携を密にし、また、子どもや保護者の思いを知り、教育的支援を行う。

7 体験を通じた道徳・キャリア教育の推進

- ・教育活動全体を通じて道徳的实践力を育てる。
- ・ボランティア活動や自然体験活動などの体験を通して豊かな道徳性を育てる。

8 基本的な生活習慣を身に付け、自己を肯定的にとらえる子どもの育成

- ・基本的な生活習慣が身に付けられるよう家庭と連携して取り組むとともに、安心して生活できる学級づくり、学校づくりを推進する。
- ・自らが自己を肯定的にとらえ、自分に対する自信や将来への明るい展望をもって意欲的に学ぶ子どもを育てる。

9 体力の向上と心の健康の保持増進

- ・交通事故・自然災害・不審者等から自分や友達の安全を守るための適切な対応を身に付けさせる。
- ・健康と運動・睡眠・食事等の関連について関心を持ち、健康の保持増進に意欲的に関わる子どもを育てる。
- ・家庭と連携のもと、望ましい食生活の推進を図る。
- ・学校の中に、子どもの悩みが気軽に相談できる雰囲気をつくる。
- ・運動の楽しさ・おもしろさを感じることでできる体育科授業の充実を図る。

10 豊かな人間性、社会性を育む特別活動の推進

- ・全校集会活動・学級会活動等に意欲的にかかわり、活気のある学校生活ができる子どもを育てる。

11 教職員の働き方改革の推進

- ・「学校における働き方改革プラン」に基づいた職場環境の整備に努め、教職員一人一人が児童と向き合う時間を十分に確保する。